

清原中学校地域協議会

保護者が集まる機会を捉えた PR

- オープンスクールに合わせて実施する百人一首大会の開催の機会を捉えて、普段学校に足を運ばない保護者などへ地域協議会活動の周知啓発を図るため、地域協議会の協力者による豚汁の提供が行われました。
- オープンスクールの開催後の時間を利用して、生徒や保護者に豚汁を提供することをおして、地域協議会の PR ができるのでないかという学校の提案を受け、地域協議会が材料や道具など全て手配し、学校の調理室を使って300人分の豚汁を作りました。野菜は、地域の農家さんから無償で提供していただき、その他の材料や道具は、学校応援基金などを活用して用意しました。
- 当日は、地域協議会と PTA が協力して豚汁の提供を行い、保護者に活動の周知を図るとともに、保護者と地域協議会の委員が直接話をするすることで、地域協議会の活動や想いを保護者と共有することができました。



300食の豚汁



提供の様子



生徒達が食べている様子

【学校の声】

中学校は小学校と比べ、学区が広く学区全体が一丸となった活動を行うことが難しいと思います。

そのような中、清原中学校では、学校が提案・要請をすると地域協議会が会長を中心に自分達で考え、実行してくれています。

いつも学校をバックアップしてくれている地域協議会の活動を、学校もバックアップしていきたいと思っています。

【地域協議会の声】

地域と保護者の繋ぎ役となって活動しています。普段学校に来て行う活動は、生徒にとっては「近所の人何かやっているな」という感覚でしかないかも知れませんが、豚汁提供のような直に接する活動をすることで、生徒と近づけると思います。

生徒に顔を覚えてもらうことで、地域での挨拶が活発に出来るようになったり、防犯にも繋がると考えています。

【いいね！】

○ 学年行事の機会を捉えて、活動を実施することで、忙しい中学生との交流や、直接顔を合わせる機会が少ない保護者への活動の周知啓発の機会を得ることができた。

○ 学校からの要望に対して、地域協議会が自ら協力できることを考え、実践にあたっては、学校と協調できる体制が整っており、両者の信頼関係が構築できている。

